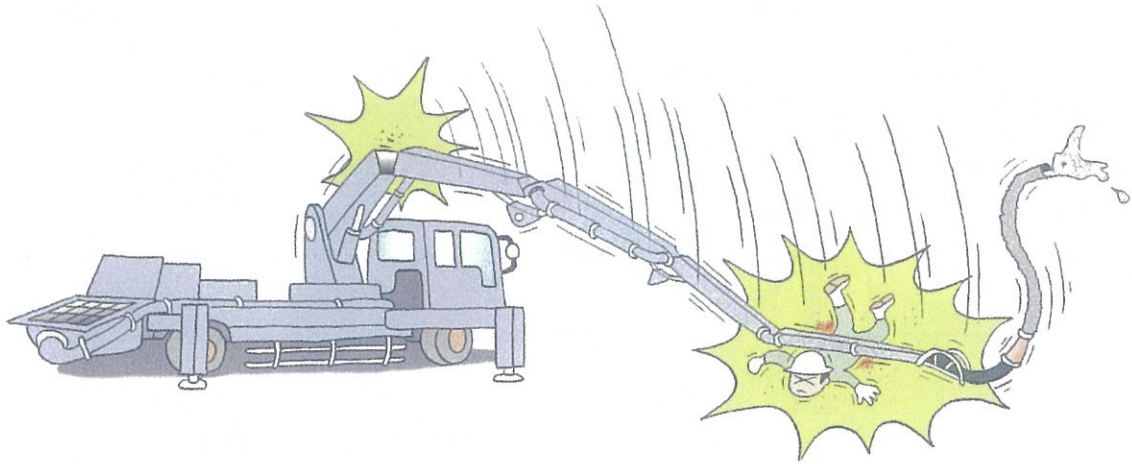


■ 事故事例 ②



発生日時

平成 26 年 9 月 6 日 8:20

発生状況

- コンクリート打設作業中、第1ブームの突き合わせ溶接部が折損。
- 落下してきたブームの先端部に作業をしていた左官工が下敷きとなり、病院に搬送されたが約1時間後に死亡した。
- 事故機は同年3月に検査業者で特定自主検査およびUT検査を実施していた。

原因

- 破断面の上面にさびが見られたため、以前から発生していた亀裂を発見できなかったこと。
- ブーム直下作業を行っていたこと。

対策

- 常日頃から日常点検を実施し、ブームの不具合を早期に発見できるように努めること。
- ブーム直下作業を行わせないように、必要な措置を講じること。

事故の様子(元請会社の死亡災害報告速報より)

